

ワーク&ライフ

新しい働き方「ワーカーズコープ」

利潤や効率より 生きがいと誇り



地域の高齢者らに健康体操を教える高浜和行さん(手前右)＝東京都墨田区で

「協同労働」という新しい働き方がある。全員で出資し、事業を決め、働き、経営する。いわば経営責任を持った労働者による協同組合(ワーカーズコープ)だ。そんな協同労働を実践する人たちを描いたドキュメンタリー映画「ワーカーズ」が完成。舞台となった東京都墨田区の活動を取材した。(発知恵理子)

冬晴れの午前中、東 那を中心にいるの京スカイツリーの足元が、高齢者施設「いきにある下町の公園。厳しいプラザ」の施設長しい寒さにもかかわらずの高浜和行さん(左)。ず、地域住民ら約五十 大声を張り上げて、自人が集まった。多くは 考案した介護予防の六十九十代の元気な 健康体操を教える。参加者からは「つえがなシニアたちだ。

全員が出資 経営者で労働者

映画の舞台ルポ

ワーカーズコープ、ワーカーズコレクティブ、労働者協同組合とも呼ばれる。児童館や託児所などの公共施設の管理、運営の受託や介護、障害者福祉事業の起業のような事例が多い。運営主体としての協同組合には、日本では適切な法人格がない

協同労働の協同組合

め、NPO法人や企業組合法人として活動している。組合員全員が出資し、事業内容や給料も決め、対等な立場で働き、経営も担う。営利追求は目的としない。この形態で国内では約5万人が働き、総事業高は約300億円とされる。

くても階段の上り下り 入し、組合員の承認を すが、「誰かがやらな が業になった」「話も 受けて、介護事務所 白いくて笑いが絶えな 「あゆみケアサーピ リ立たない。みんな助 い」と評判は上々だ。 ス」を立ち上げた。以 けて助けられる」。

元体育教師の高浜さ 前は家政婦紹介所の登 んは、地元中学などで 録ヘルパーだったが、 二十七年間、熱心に教 身分の不安定さに疑問 えてきた。だが家庭で を感じていた。

のトラブルをきっかけ 「自分たちのために や子育てで支援で新事業 に、離婚、退職。その 仕事を起そうと思っ を立ち上げたケースも 後は日雇い労働に明け たけど、お金がなかつ 紹介。森康行監督は 暮れた。心身がすさむ た。どうしたら、と思 「成果主義や効率優先 のを感じ、自分を生か った時にワーカーズコ が横行し、就職できず

「助け、助けられる」

せる仕事をとハローワ ープの紹介を受けた」 ークを訪れ、七年前に と振り返る。

今の仕事に出合った。 今では介護にとどま く、働く喜びや生きが

高浜さんは、区から らず、家探しや大掃 い、誇りを感じられる 同施設の運営を受託し 除、生活保護の申請補 働き方の一つとして知 たワーカーズコープの 助や葬式まで、地域の かってほしい」と話す。

組合員になった。今で 高齢者や障害者らを支 える。大谷さんは「お りリーダー。「地域のた 金にならない依頼がい めになるやりのあ っぱい来る」と苦笑す る仕事。自分も生き返 った」と言う。

ヘルパーの大谷みち こそん(左)は、七人の ヘルパー仲間と既存の ワーカーズコープに加



映画は二月二日か ら、東京都中野区のポ レポレ東中野で公開。 配給元の映画「ワーカーズ」全国上映普及委 員会は、各地で自主上 映を目指している。問 い合わせは、同委員会 (日本労働者協同組合 ワーカーズコープ連合 会内) 電話03(6990 7)8032へ。